

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	9年9カ月間（2009年11月27日～2019年8月26日）
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	1. ブラジルの金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（DR（預託証券）を含みます。また、上場予定および店頭登録予定を含みます。） 2. ブラジルの企業のDR（預託証券）
運用方法	①主としてブラジルの株式（DR（預託証券）を含みます。以下同じ。）の中から、ブラジル国内のインフラ投資拡大の恩恵を受けると考えられる銘柄に投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。 ②運用にあたっては、以下の点に留意して投資することを基本とします。 イ. インフラの構築、整備、運営やインフラ投資の支援事業に関連すると判断される銘柄群の中から投資対象銘柄を選定します。 ロ. 経済情勢や業界動向等の分析を行なうとともに、個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価バリュエーション等を総合的に勘案してポートフォリオを構築します。 ③外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドは、当該外貨建資産の運用について、サンタンデール アセット マネジメント（ブラジル）の助言を受けます。 ④株式の組入比率は、通常の状態では信託財産の純資産総額の80%程度以上に維持することを基本とします。 ⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
株式組入制限	無制限
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

# ブラジル・インフラ 関連株ファンド

## 運用報告書（全体版）

第30期（決算日 2017年5月26日）

第31期（決算日 2017年8月28日）

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ブラジル・インフラ関連株ファンド」は、このたび、第31期の決算を行ないました。

ここに、第30期、第31期中の運用状況を報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9:00～17:00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

最近10期の運用実績

決算期	基準価額			ボベスパ指数 (配当込み、円換算)		株式 組入比率	株式 先物比率	純資産 総額
	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率				
	円	円	%		%	%	%	百万円
22期末(2015年5月26日)	7,520	0	0.3	6,556	△ 0.1	97.5	—	310
23期末(2015年8月26日)	5,459	0	△ 27.4	4,477	△ 31.7	96.8	—	218
24期末(2015年11月26日)	5,791	0	6.1	4,686	4.7	96.8	—	216
25期末(2016年2月26日)	4,715	0	△ 18.6	3,655	△ 22.0	96.4	—	167
26期末(2016年5月26日)	5,782	0	22.6	4,618	26.4	96.6	—	192
27期末(2016年8月26日)	6,504	0	12.5	5,475	18.6	97.0	—	211
28期末(2016年11月28日)	6,629	0	1.9	6,181	12.9	96.7	—	213
29期末(2017年2月27日)	7,909	0	19.3	7,341	18.8	97.1	—	235
30期末(2017年5月26日)	7,071	0	△ 10.6	6,590	△ 10.2	96.3	—	209
31期末(2017年8月28日)	7,845	0	10.9	7,495	13.7	97.1	—	220

(注1) ボベスパ指数(配当込み、円換算)は、ボベスパ指数(配当込み、ブラジル・リアルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。

(注2) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注3) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



#### ■ 基準価額・騰落率

第30期首：7,909円

第31期末：7,845円

騰落率：△0.8%

#### ■ 基準価額の変動要因

ブラジル株式に投資した結果、基準価額は下落しました。ブラジル株式は経済改革の進展期待などから上昇しましたが、テメル大統領に対する汚職隠ぺいの疑惑や地政学的リスクの高まりなどを受けてブラジル・リアルが対円で下落したことがマイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ブラジル・インフラ関連株ファンド

	年 月 日	基 準 価 額		ボベスバ指数 (配当込み、円換算)		株 式 組入比率	株 式 先物比率
		円	%	(参考指数)	%		
第30期	(期首) 2017年 2月27日	7,909	—	7,341	—	97.1	—
	2月末	7,941	0.4	7,362	0.3	97.1	—
	3月末	7,711	△ 2.5	7,094	△ 3.4	97.1	—
	4月末	7,363	△ 6.9	6,897	△ 6.0	96.9	—
	(期末) 2017年 5月26日	7,071	△ 10.6	6,590	△ 10.2	96.3	—
第31期	(期首) 2017年 5月26日	7,071	—	6,590	—	96.3	—
	5月末	7,150	1.1	6,651	0.9	96.4	—
	6月末	7,062	△ 0.1	6,442	△ 2.3	97.1	—
	7月末	7,732	9.3	7,047	6.9	97.3	—
	(期末) 2017年 8月28日	7,845	10.9	7,495	13.7	97.1	—

(注) 騰落率は期首比。

**投資環境について**

(2017. 2. 28 ~ 2017. 8. 28)

**■ブラジル株式市況**

ブラジル株式市況は、第30期首から2017年4月にかけては、米国の利上げ観測の高まりや原油価格の下落に加えて、ブラジル議会下院において社会保障制度改革法案の成立が先送りされる見通しとなったことなどが失望され、上値の重い展開となりました。また、北朝鮮情勢などをめぐる地政学的リスクが高まったことも下落要因となりました。5月に入ると、社会保障制度改革法案の成立に楽観的な見方が高まり上昇する場面もありましたが、テメル大統領に対する汚職隠ぺいの疑惑が報じられたことを受けて現政権での構造改革が遅れるとの懸念が広がったため急落しました。しかしその後は、汚職隠ぺいの証拠が事前報道ほど決定的ではなかったことから市場は落ち着きを取り戻しました。7月には、商品価格の上昇に加えて、労働法改正案が成立したことやルラ元大統領が収賄で有罪判決となったことなどが好感されて反発に転じました。8月には、議会下院がテメル大統領に対する収賄容疑での起訴を受け入れないことを採決したことから、改革路線が維持されるとの見方が広がり続伸しました。また、空港や港湾などの公益事業を民営化するとの発表も上昇要因となり、第30期首比で上昇しました。

**■為替相場**

ブラジル・レアルは対円で下落しました。第30期首から、米国の利上げ観測の高まりやブラジルの社会保障制度改革の進ちょくに懸念が台頭したことに加えて、地政学的リスクの高まりや有力政治家の汚職疑惑などを受けて上値の重い展開となりました。2017年5月には、社会保障制度改革への楽観的な見方が広がり上昇する場面もありましたが、テメル大統領に対する汚職隠ぺいの疑惑を受けて構造改革の進展に対する懸念が広がったことから大幅下落しました。その後は、市場は落ち着きを取り戻して下げ渋る展開となりました。7月には、商品価格が上昇したこと、労働法改正案が成立したこと、ルラ元大統領が収賄で有罪判決となったことなどが支援材料となり、下げ幅を縮小させました。しかし第31期末にかけては、地政学的リスクの再燃などから軟調な推移となりました。

**前作成期間末における「今後の運用方針」**

経済情勢や業界動向等の分析と個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価バリュエーション等の分析の組み合わせにより、ポートフォリオを構築します。なお、外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。

また、ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドは、当該外貨建資産の運用について、サンタンデール アセット マネジメント（ブラジル）の助言を受けます。

## ポートフォリオについて

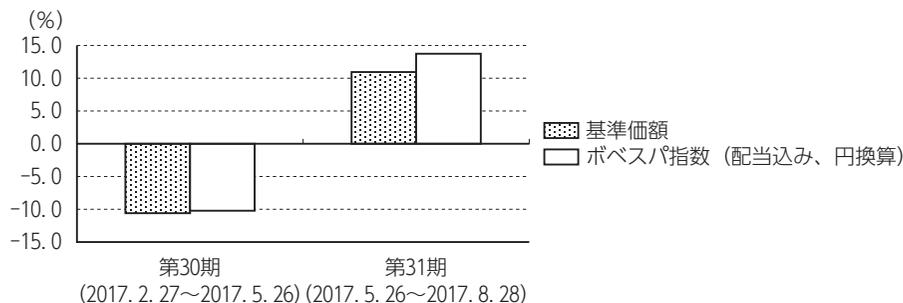
(2017. 2. 28 ~ 2017. 8. 28)

当作成期間は、株式組入比率を高位とし、インフラ（社会基盤）の構築、整備、運営やインフラ投資の支援事業に関連すると判断される銘柄群の中から、経済情勢や業界動向等の分析と個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価バリュエーション等の分析の組み合わせにより、ポートフォリオを構築しました。個別銘柄では、堅調な業績の推移が見込まれた B3 SA-BRASIL BOLSA BALCAO（金融）、金利の低下から恩恵を受けることが見込まれた ULTRAPAR（エネルギー）などの組入比率を高位としました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数（ボベスパ指数（配当込み、円換算））との騰落率の対比です。当ファンドは運用スキーム上、参考指数と比較して公益事業セクターの組入比率が高く、消費関連セクターの組入比率が低い（もしくは組み入れがない）という特徴があります。参考指数はブラジル株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



## 分配金について

第30期および第31期は、基準価額の水準等を勘案して、収益分配を見送らせていただきました。なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第30期		第31期	
	2017年2月28日 ～2017年5月26日		2017年5月27日 ～2017年8月28日	
当期分配金（税込み）	(円)	—	—	—
対基準価額比率	(%)	—	—	—
当期の収益	(円)	—	—	—
当期の収益以外	(円)	—	—	—
翌期繰越分配対象額	(円)	1,835	1,855	

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



## 今後の運用方針

経済情勢や業界動向等の分析と個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価バリュエーション等の分析の組み合わせにより、ポートフォリオを構築します。なお、外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。また、ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドは、当該外貨建資産の運用について、サンタンデール アセット マネジメント（ブラジル）の助言を受けます。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第30期～第31期 (2017. 2. 28～2017. 8. 28)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	68円	0.904%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は7,509円です。
(投 信 会 社)	(32)	(0.430)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(32)	(0.430)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(3)	(0.043)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	4	0.053	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(4)	(0.053)	
有 価 証 券 取 引 税	1	0.009	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(1)	(0.009)	
そ の 他 費 用	30	0.399	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(27)	(0.364)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(2)	(0.032)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	102	1.364	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況  
株 式

(2017年2月28日から2017年8月28日まで)

		第 30 期 ~ 第 31 期			
		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 62 ( )	千アメリカ・ドル 106 ( )	百株 81	千アメリカ・ドル 83
	ブラジル	百株 550 ( 40.44)	千ブラジル・レアル 851 ( )	百株 894.48	千ブラジル・レアル 1,263

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ( )内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2017年2月28日から2017年8月28日まで)

項 目	第 30 期 ~ 第 31 期
(a) 期中の株式売買金額	94,729千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	213,647千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.44

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄  
株 式

(2017年2月28日から2017年8月28日まで)

第 30 期 ~ 第 31 期				第 31 期			
買 付		株 数		金 額		平均単価	
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
CIELO SA (ブラジル)	9	7,458	828	USINAS SIDER MINAS GER-PF A (ブラジル)	39	6,327	162
ULTRAPAR PARTICPAC-SPON ADR (ブラジル)	2.2	5,656	2,570	ENGIE BRASIL ENERGIA SA (ブラジル)	4.1	4,945	1,206
TELEFONICA BRASIL-ADR (ブラジル)	3	4,914	1,638	EZ TEC EMPREENDIMENTOS E PAR (ブラジル)	6.948	4,272	614
RUMO SA (ブラジル)	13.2	4,160	315	WEG SA (ブラジル)	6.4	3,974	620
BRADSPAR SA -PREF (ブラジル)	5.2	4,124	793	LIGHT SA (ブラジル)	5.2	3,924	754
MRV ENGENHARIA (ブラジル)	6.7	3,160	471	CIELO SA (ブラジル)	3.1	3,021	974
CIA SANEAMENTO DO PARANA-PRF (ブラジル)	5.4	2,104	389	KLABIN SA - UNIT (ブラジル)	5	2,869	573
ECORODOVIAS INFRA E LOG SA (ブラジル)	5.4	1,989	368	CCR SA (ブラジル)	4.5	2,780	617
EZ TEC EMPREENDIMENTOS E PAR (ブラジル)	2.5	1,793	717	ULTRAPAR PARTICPAC-SPON ADR (ブラジル)	1.1	2,756	2,505
SUZANO PAPEL E CELULO-PREF A (ブラジル)	3.8	1,675	440	CENTRAIS ELETRICAS BRAS-PR B (ブラジル)	4.1	2,718	663

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当作成期間(第30期~第31期)中における利害関係人との取引はありません。

ブラジル・インフラ関連株ファンド

■組入資産明細表

外国株式

銘柄	株数	第 31 期 末		業 種 等		
		株 数	株 数		評 価 額	
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額
	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円		
<b>(アメリカ)</b>						
GERDAU SA -SPON ADR	115	87	31	3,398	素材	
CIA SANEAMENTO BASICO DE-ADR	40	50	49	5,362	公益事業	
TELEFONICA BRASIL-ADR	79	92	141	15,488	電気通信サービス	
PETROLEO BRASIL-SP PREF ADR	44	24	21	2,296	エネルギー	
CIA ENERGETICA DE-SPON ADR	201	201	54	5,899	公益事業	
EMBRAER SA-SPON ADR	23	18	38	4,248	資本財・サービス	
CIA SIDERURGICA NAEL-SP ADR	152	152	41	4,477	素材	
CIA PARANAENSE ENER-SP ADR P	7	7	6	718	公益事業	
ULTRAPAR PARTICPAC-SPON ADR	73.5	84.5	195	21,279	エネルギー	
アメリカ・ドル通貨計	株数、金額	734.5	715.5	578	63,169	
	銘柄数<比率>	9銘柄	9銘柄		<28.6%>	
<b>(ブラジル)</b>						
CIA SANEAMENTO DO PARANA-PRF	78	132	136	4,717	公益事業	
MULTIPLAN EMPREENDIMENTO-RCT	1.46	—	—	—	不動産	
RUMO SA	—	119	122	4,240	資本財・サービス	
USINAS SIDER MINAS GER-PF A	555	165	109	3,771	素材	
CENTRAIS ELETRICAS BRAS-PR B	80	39	85	2,947	公益事業	
BRADSPAR SA -PREF	—	52	135	4,663	素材	
COSAN SA INDUSTRIA COMERCIO	50	50	192	6,638	エネルギー	
CCR SA	247	202	357	12,338	資本財・サービス	
LIGHT SA	66	14	29	1,015	公益事業	
CYRELA BRAZIL REALTY SA EMP	24	—	—	—	一般消費財・サービス	
CIA ENERGETICA DE SP-PREF B	58	50	74	2,562	公益事業	
ELETROPAULO METROPOLI-PREF	21	21	33	1,152	公益事業	
CIA DE TRANSMISSAO DE ENE-PF	26	16	114	3,938	公益事業	
SUZANO PAPEL E CELULO-PREF A	—	38	67	2,329	素材	
LOCALIZA RENT A CAR	41.35	48.41	285	9,849	資本財・サービス	
ENGIE BRASIL ENERGIA SA	41	—	—	—	公益事業	
MRV ENGENHARIA	—	67	87	3,030	一般消費財・サービス	
EDP - ENERGIAS DO BRASIL SA	80	80	120	4,146	公益事業	
B3 SA-BRASIL BOLSA BALCAO	376	349	779	26,909	金融	
AES TIETE ENERGIA SA-UNIT	25	25	35	1,235	公益事業	
MULTIPLAN EMPREENDIMENTOS	27	24.46	180	6,237	不動産	
BR MALLS PARTICIPACOES SA	131.6	138.34	185	6,415	不動産	
CIELO SA	116.2	193.84	433	14,952	情報技術	
EZ TEC EMPREENDIMENTOS E PAR	44.48	—	—	—	一般消費財・サービス	
EQUATORIAL ENERGIA SA - ORD	40	37	231	8,005	公益事業	
IOCHPE-MAXION S. A.	61	61	120	4,166	資本財・サービス	
WEG SA	159	107	219	7,581	資本財・サービス	
ECORODOVIAS INFRA E LOG SA	—	54	55	1,928	資本財・サービス	
KLABIN SA - UNIT	50	—	—	—	素材	
TRANSMISSORA ALIANCA DE-UNIT	9	9	20	708	公益事業	
ALUPAR INVESTIMENTO SA-UNIT	76.36	88.36	162	5,598	公益事業	
ブラジル・リアル通貨計	株数、金額	2,484.45	2,180.41	4,375	151,081	
	銘柄数<比率>	26銘柄	26銘柄		<68.5%>	
ファンド合計	株数、金額	3,218.95	2,895.91	—	214,251	
	銘柄数<比率>	35銘柄	35銘柄		<97.1%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の中値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2017年8月28日現在

項 目	第 31 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	214,251	94.0
コール・ローン等、その他	13,668	6.0
投資信託財産総額	227,919	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、8月28日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=109.11円、1ブラジル・レアル=34.53円です。

(注3) 第31期末における外貨建純資産(218,519千円)の投資信託財産総額(227,919千円)に対する比率は、95.9%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2017年5月26日)、(2017年8月28日)現在

項 目	第30期末	第31期末
<b>(A) 資産</b>	<b>211,204,327円</b>	<b>227,919,781円</b>
コール・ローン等	6,840,695	4,944,046
株式(評価額)	201,340,445	214,251,263
未収入金	—	6,253,024
未収配当金	3,023,187	2,471,448
<b>(B) 負債</b>	<b>2,198,172</b>	<b>7,312,285</b>
未払金	1,112,525	—
未払解約金	99,064	6,301,209
未払信託報酬	983,700	1,005,240
その他未払費用	2,883	5,836
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>209,006,155</b>	<b>220,607,496</b>
元本	295,572,190	281,194,133
次期繰越損益金	△ 86,566,035	△ 60,586,637
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>295,572,190口</b>	<b>281,194,133口</b>
1万口当り基準価額(C/D)	<b>7,071円</b>	<b>7,845円</b>

\*第29期末における元本額は297,978,039円、当作成期間(第30期~第31期)中における追加設定元本額は3,697,031円、同解約元本額は20,480,937円です。

\*第31期末の計算口数当りの純資産額は7,845円です。

\*第31期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は60,586,637円です。

■損益の状況

第30期 自2017年2月28日 至2017年5月26日  
第31期 自2017年5月27日 至2017年8月28日

項 目	第30期	第31期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>2,912,913円</b>	<b>600,378円</b>
受取配当金	2,911,801	599,190
受取利息	1,428	1,515
支払利息	△ 316	△ 327
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>△ 26,144,666</b>	<b>22,616,482</b>
売買益	4,859,245	26,669,392
売買損	△ 31,003,911	△ 4,052,910
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 1,429,603</b>	<b>△ 1,440,256</b>
<b>(D) 当期損益金(A+B+C)</b>	<b>△ 24,661,356</b>	<b>21,776,604</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>△ 55,266,827</b>	<b>△ 75,727,223</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>△ 6,637,852</b>	<b>△ 6,636,018</b>
(配当等相当額)	( 11,182,168)	( 10,806,821)
(売買損益相当額)	(△ 17,820,020)	(△ 17,442,839)
<b>(G) 合計(D+E+F)</b>	<b>△ 86,566,035</b>	<b>△ 60,586,637</b>
<b>次期繰越損益金(G)</b>	<b>△ 86,566,035</b>	<b>△ 60,586,637</b>
追加信託差損益金	△ 6,637,852	△ 6,636,018
(配当等相当額)	( 11,182,168)	( 10,806,821)
(売買損益相当額)	(△ 17,820,020)	(△ 17,442,839)
分配準備積立金	43,065,882	41,365,455
繰越損益金	△ 122,994,065	△ 95,316,074

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程(総額)」の表をご参照ください。

(注4) 投資信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用:613,577円(未監査)

■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	第30期	第31期
(a) 経費控除後の配当等収益	1,483,310円	563,075円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0
(c) 収益調整金	11,182,168	10,806,821
(d) 分配準備積立金	41,582,572	40,802,380
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	54,248,050	52,172,276
(f) 分配金	0	0
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	54,248,050	52,172,276
(h) 受益権総口数	295,572,190口	281,194,133口

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA(ニーサ)」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。